

実験課題を記入してください。
※個々の動物実験ごとに計画書
を作成してください。
実習の場合は、実施年度、対象者
(学年)シラバスの何回目にあたる
かを記載し、シラバス等の写しを
添付してください。

変更の場合は、前回承認された計画書等の写しを添付してください。

学部で任意に使用してください。

変更、更新の場合は、旧承認
番号を記入して下さい。

学部名から記載し、学部より下は学部の実情に合わせて記載してください。

動物実験責任者名 (選択項目を■)	フリガナ	ニチダイ タロウ	所属		職		教育訓練の受講
	氏名	日大 太郎	〇〇学部〇〇学科		教授		■有 □無
	e-mail	Nichidaitaro@nihon-u.ac.jp	TEL: 03-5275-8137				
動物実験実施者名 (括弧内にフリガナ, 選択項目を■)		日大 花子 (ニチダイ ハナコ)	〇〇学部〇〇学系		教授		■有 □無
		大学 一郎 (ダイガク イチロウ)	〇〇学部〇〇ユニット				
		市ヶ谷 次郎 (イチガヤ ジヤウ)	大学院〇〇研究科				
		動物実験等を実施する者をいいます。動物実験責任者はここに含めないで下さい。なお、実験実習生の場合は、「〇〇学科〇年〇〇名」と記載してください。		実験実施期間は原則2年までです。		教育訓練の受講は必須です。計画提出時に受講していない者は、後日必ず受講してください。なお、教育訓練の受講を予定している者は「有」としてください。実習の場合は、「その他必要または不要」と記載してください。	

教育訓練の受講は必須です。計画書提出時に受講していない者は、後日必ず受講してください。

なお、教育訓練の受講を予定している者は「有」としてください。

実習の場合は、「その他必要または参考事項」の欄に学生に対する教育訓練について記載してください。

実験実施期間は原則
2 年までです。

動物実験等を実施する者をいいます。動物実験責任者はここに含めないで下さい。
なお、実験実習生の場合は、「〇〇学科〇年〇〇名」と記載してください。

中止・終了等

飼養保管施設
(設置承認品)

〇〇学部動物実験センター

実験室

〇〇学部動物実験センター実験室

飼養保管施設及び実験室は承認を受けた正式名称と承認番号を記入してください。

物種

系統

性別

数

生物学的品質

入手先(生産機)

備考

使用動物

ラット

LEW-TgN(CAG

メス

入手先には、生産機関
名を記載してください。

〇〇研究所

他大学および研究機関等から導入する場合は授受に関する書類の写しを添付してください。

研究目的

研究計画
○○○○

実験方法（動物に加える処置，使用動物数の根拠を具体的に記入し，「想定される苦痛
せる。」）

[illegible]

研究目的・計画・
方法等

具体的な薬品名を記載する場合は、一般名を使用してください。(商品名ではない)

研究目的の変更及び研究計画・実験方法の大幅な変更は、「動物実験計画書」を新たに提出すること。

研究目的欄には、直接的な目的だけでなく、以下の項目について記入してください。

- 1) 研究の目的
.....
- 2) 動物実験が必要な理由
.....
- 3) 他の方法で代替できない理由
.....
- 4) 動物実験の科学的・社会的意義
.....

提出時には、前回承認された計画書等の写しを添付してください。

(様式 2)

平成 年 月 日

〇 〇 学 部 長 殿

該当に○印を付してください。

動物実験計画 (変更)・追加 承認申請書

動物実験計画書と同様に記載してください。

動物実験責任者

所属：〇〇学部〇〇学科

職名：教授

氏名：日大 太郎

該当に○印を付してください。

承認番号 〇〇〇〇〇〇〇〇 の動物実験計画を下記のとおり、**変更**・追加したいので承認願います。

該当(責任者・実施者)
に合わせ記入してください。

記

変更・追加事項*

①動物実験責任者・実施者の変更・追加・削除

追加・削除の別	動物実験〇〇者名	フリガナ	所 属	職	教育訓練の受講
追 加	大学 一郎	(ダイガク イチロウ)	〇〇学部〇〇ユニット	准教授	■有 □無

②動物実験実施期間の延長

該当(追加・変更)に合
わせ記入してください。

(変更前) ~

(変更後) ~

③実験動物の使用頭数の変更

	動物種	系 統	性 別	頭 数	微生物学的品質	入手先(生産機関名)	備 考
変更前	マウス	C57BL/6J	オス	50	SPF	〇〇株式会社	
変更後	マウス	C57BL/6J	オス	100	SPF	〇〇株式会社	

2. 変更・追加等の理由

[illegible]

3. 学部委員会 記入欄	
4. 学部長承認欄	承認： 年 月 日 承認番号： ○○○○○○○○-1

※研究目的の変更及び研究計画・実験方法の大幅な変更は、当該実験計画を一旦終了し、「実験計画書」を新たに提出すること。

※実験動物の使用頭数の変更、追加により実験方法等に変更が生じる場合は、様式1により変更
 手続きを行うこと。

※遺伝子組換えに係る実験計画を変更する場合は、遺伝子組換え実験安全委員会の承認を得ること。

記入例

(様式3)

- ①「終了」は、計画通り実験を終了した場合及び動物を1頭でも使用し実験を開始し、何らかの理由により途中で実験を終了した場合とします。そこまでに得られた成果を様式4(実験結果報告書)に記入し提出してください。
- ②「中止」は、動物を1頭も使用しないで計画そのものが中止となった場合とします。

該当に○印を付けてください。

平成 年 月 日

〇 〇 学 部 長 殿

動物実験計画 (終了・中止) 報告書

動物実験計画書と同様に記載してください。

動物実験責任者

所属：〇〇学部〇〇学科

職名：教授

氏名：日大 太郎

承認番号 〇〇〇〇〇〇〇〇 の動物実験計画を下記のとおり、(終了・中止)しましたので報告します。

該当に○印を付けてください。

記

該当に○印を付けてください。

1. 実験 (終了・中止) 年月日

平成〇〇年 〇月〇〇日

2. 実験動物の最終処分年月日

平成〇〇年 〇月〇〇日

中止の場合は、様式4は提出不要です。

3. 中止の理由 (中止した場合)

4. 備考 (計画頭数に対する使用頭数を記入する。)

使用動物について記入してください。

計画通りマウス〇頭を使用して終了した。

ラット〇頭使用する計画であったが、〇頭を使用し終了した。

※残存する実験動物について処分以外の方法を扱う場合は、その方法等を備考に記入する。

※本様式は、動物実験終了後もしくは中止後、直ちに提出すること。

記入例

(様式4)

○ ○ 学 部 長 殿

動物実験計画書と同様に記載してください。

平成〇〇年〇〇月〇〇日

動物実験責任者

所属：○○○○

職名：教授

氏名：日大 太郎

動物実験結果報告書

日本大学動物実験運営内規に基づき、下記のとおり報告します。

実験終了後、1年を目安に作成してください。なお、その時点で論文掲載がない場合も、掲載予定または投稿予定誌を記載してください。その後、論文掲載が決定したら、報告してください。

なお、実験を中止した場合は、様式4の提出は不要です。

1. 承認番号	○○○○○○○○○
2. 研究課題名	○○○○○○○○○○○○○○○について
3. 実験の結果 (該当項目を■とし、その概要を簡潔に記述)	<div><div><input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり実施</div><div><input type="checkbox"/> 一部変更して実施(※)</div></div> <div>結果の概要 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○</div>
4. 使用実験動物種・頭数	計画通りマウス○頭を使用して終了した。 ラット○頭使用する計画であったが、○頭を使用し終了した。
5. 成果（予定を含む） (得られた業績，例：雑誌論文，図書，工業所有権などについて，著者名，論文標題，雑誌名，巻・号，発行年，頁，出版社などを記載，必要に応じて別紙に記載)	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ <div>実習の場合は，実習時の目的達成成果を記入してください。</div>
6. 特記事項	

様式3「4.備考」と同様
に入力してください。

実習の場合は、実習時の目的達成成果を記入してください。

※ 変更が承認されていること。

※ 本様式は、動物実験終了後1年を目途に提出すること。

(様式5)

飼養保管施設設置承認申請書

〇〇学部長 殿

施設等管理者

所属・職 〇〇研究所・所長

氏名 麴町 五郎

印

施設等を設置又は変更(以下「設置等」という)する場合に、その責任者となり、当該施設等を管理する者をいいます。

日本大学動物実験運営内規に基づき、下記の飼養保管施設設置の承認について申請します。

☒ 新規 ☐ 変更 ☐ 更新

(旧設置承認番号:)

提出年月日	平成〇〇年〇月〇〇日	受付年月日	平成〇〇年〇月〇〇日	受付番号	
1. 飼養保管施設(施設)の名称	〇〇〇〇〇〇〇〇 原則として、実験動物医学の専門家となります。 また、学部の実情に合わせて複数置くことができます。 学部で任意に使用してください。				
2. 施設の管理体制	<p>〈実験動物管理者〉 所属 〇〇学科 職名 技手1級 氏名 有楽町 六郎 連絡先 03-〇〇〇〇-〇〇〇〇 関連資格: 〇〇〇</p> <p>〈飼養者〉(人数が多い場合、別資料として添付) 所属 職名 氏名 関連資格: 実験動物技術者等、実験動物に関する知識・技術を有するものとなります。</p>				
3. 施設の概要	<p>1) 建物の構造: (例: 鉄筋コンクリート造) 〇〇〇〇〇〇〇〇〇</p> <p>2) 空調設備: (例: 温湿度制御, 換気回数等) 〇〇〇〇〇〇〇〇〇</p> <p>3) 飼養保管する実験動物種: 〇〇〇〇〇〇〇〇〇</p> <p>4) 飼養保管設備 (例: 飼育ケージ等) 規格: 〇〇〇〇 最大収容頭数: 〇〇頭</p> <p>5) 逸走防止策 (例: ケージの施錠, 前室の有無, 窓や排水口の封鎖等) 〇〇〇〇〇〇〇〇〇</p> <p>6) 衛生設備 (洗浄・消毒・滅菌等の設備等) 名称: 〇〇〇〇〇〇〇〇〇 規格: 〇〇〇〇〇〇〇〇〇</p> <p>7) 臭気, 騒音, 廃棄物等による周辺への悪影響防止策 〇〇〇〇〇〇〇〇〇</p> <p>サルやブタ等の場合は、条例等があるので注意してください。</p> <p>廃棄物の処理方法等を記載してください。</p>				

4. 特記事項（例：化学的危険物質や病原体等を扱う場合等の設備構造の有無等）	
5. 学部委員会 記入欄	調査月日： 年 月 日 調査結果： <input type="checkbox"/> 申請された飼養保管施設は日本大学動物実験運営内規に適合する。 (条件等 <input type="checkbox"/> 改善後，使用開始すること。) <input type="checkbox"/> 申請された飼養保管施設は日本大学動物実験運営内規に適合しない。 意見等 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 20px;"> 修正意見等があった場合は、再提出後も削除しないでください。 （再提出後に意見があれば、前回の意見等に追加して記載してください。） </div>
6. 学部長承認欄	承認： 年 月 日 本申請を承認します。 設置承認番号：第 AF09L001 号 ※設置承認番号は AF＋西暦 2 桁＋学部イニシャル＋連番 3 桁＋更新・変更回数で記入

平面図は出入口が分かるものを添付してください。

日本大学〇〇学部長

※ 当該施設の位置を示す地図及び平面図を必ず添付すること

※ 変更・更新の場合は、前回からの変更点に下線を付し、地図及び平面図は変更がある場合にのみ添付してください。

承認後に学部長印を押印してください。

記入例

(様式6)

実験室設置承認申請書

施設等を設置又は変更(以下「設置等」という)する場合に、その責任者となり、当該施設等を管理する者をいいます。

〇〇学部長 殿

施設等管理者

所属・職

氏名

〇〇研究所・所長

麹町 五郎 印

日本大学動物実験運営内規に基づき、下記の実験室設置の承認について申請します。

☒新規 ☐変更 ☐更新

(旧設置承認番号:)

提出年月日	平成 年 月 日	受付年月日	平成 〇〇年 〇月〇〇日	受付番号	
-------	----------	-------	--------------	------	--

1. 実験室の名称

学部で任意に使用してください。

2. 実験室の管理体制

〈実験室管理担当者〉(例: 教室主任等)

所属: 〇〇学科 職名: 学科主任・教授 氏名: 有楽町 六郎

連絡先: 03-〇〇〇〇-〇〇〇〇

3. 実験室の概要

1) 実験室の面積: (〇〇〇㎡)

2) 実験に使用する実験動物種: マウス, ラット, 〇〇〇

3) 実験設備 (特殊装置の有無等)

4) 逸走防止策 (前室の有無, 窓や排水口の封鎖など)

前室, ネズミ返し, 〇〇〇

5) 臭気, 騒音, 廃棄物等による周辺への悪影響防止策

〇〇〇〇〇〇

4. 特記事項 (例: 化学的危険物質や病原体等を扱う場合等の設備構造の有無等)

5. 学部委員会
記入欄

調査月日: 年 月 日

調査結果: ☐ 申請された実験室は日本大学動物実験運営内規に適合する。(条件等 ☐ 改善後, 使用開始すること。)☐ 申請された実験室は日本大学動物実験運営内規に適合しない。

意見等

修正意見等があった場合は、再提出後も削除しないでください。(再提出後に意見があれば、前回の意見等に追加して記載してください。)

6. 学部長承認欄

承認: 年 月 日

本申請を承認します。

設置承認番号: 第 AF09L002 号

※設置承認番号はAF+西暦2桁+学部イニシャル+連番3桁+更新・変更回数で記入

平面図は出入口が分かるものを添付してください。

日本大学〇〇学部長

承認後に学部長印を押印してください。

※ 当該施設の位置を示す地図及び平面図を必ず添付すること

※ 変更・更新の場合は、前回からの変更点に下線を付し、地図及び平面図は変更がある場合のみ添付すること。

(様式7)

〇〇学部長 殿

施設等を設置又は変更(以下「設置等」という)する場合に、その責任者となり、当該施設等を管理する者をいいます。

記入例

平成〇〇年 〇月〇〇日

該当に〇印を付してください。

施設等管理者

所属・職

氏名

〇〇研究所・所長

麴町 五郎 印

施設等 (飼養保管施設・動物実験室) 廃止届

日本大学動物実験運営内規に基づき、下記のとおり届出いたします。

1. 廃止する飼養保管施設 (施設) または実験室の 名称	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 設置承認番号 (〇〇〇〇〇〇〇〇)
2. 廃止年月日	平成〇〇年 〇月 〇〇日
3. 廃止後の利用予定	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
4. 廃止時に残存した飼養 保管動物の措置 (飼養保管施設の場合のみ記載)	残存飼養保管動物の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 有の場合の措置 実験室の廃止の場合は、 チェック不要です。
5. 特記事項	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
6. 学部委員会記入欄	特記事項なし
7. 学部長記入欄	廃止承認年月日：平成〇〇年〇年〇〇日

記入例

(様式8)

平成〇〇年〇月〇〇日

日本大学学長 殿

前年度のものを4月に報告
してください。

学 部 名 〇〇学部

学部長名 〇〇 〇〇 印

飼養保管状況報告書

日本大学動物実験運営内規に基づき、平成__〇〇__年度における飼養保管状況について、下記のとおり報告します。

動物種	飼養数(*)
マウス	30,000

* 当該年度における延べ数

(例) 100頭を300日飼養した場合

100頭×300日=30,000頭

(様式 9)

平成〇〇年 〇月〇〇日

○ ○ 学 部 長 殿

動物実験責任者

所属：○○○○○

職名：教授

氏名：日大 太郎

他学部（他研究機関）における動物実験実施申請書兼理由書

標記のことについて、他学部における動物実験を実施したいので、下記のとおり申請します。

記

1. 研究課題名	○○○○○○○○○○○に関する研究
2. 実施場所	学部名又は研究機関名：□□学部 実験室名称：○号館△△△実験室
3. 理由 (具体的に記述)	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
4. 特記事項	

※動物実験計画書，その他当該動物実験計画に関連する資料を添付すること。

	氏 名	所属	職	緊急連絡先
1. 発がん動物 飼養・保管 担当者	日大 太郎	〇〇学部〇〇学科	教 授	03-〇〇〇〇-〇〇〇〇
	日大 花子	〇〇学部△△学科	准教授	03-〇〇〇〇-〇〇〇〇

2. 発がん物質 投与実験	投与物質の名称
	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
	投与物質の詳細
	物理化学的性質(形状、分子量・性状(温度・pH・光など)、揮発性、引火性、安定性など)、健康に対する有害性(急性毒性、生殖毒性、変異原性、発がん性、許容濃度など)、環境に対する有害性(生態毒性、残留性など)、取扱い上の注意、その他知られている事実を記入する(必要に応じてデーターシート等を添付する)。
	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
	人体に対する発がん性の IARC の評価 (該当項目を■,4の場合は説明)
	<input checked="" type="checkbox"/> 1. グループ1(発がん性がある) <input type="checkbox"/> 2. グループ2A(おそらく発がん性がある) <input type="checkbox"/> 3. グループ2B(発がん性があるかもしれない) <input type="checkbox"/> 4. その他()
動物種・頭数・投与方法・頻度・総投与量	
マウス・10 頭・○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ・ ○○○○ ・ ○○○○	
投与した危険物質等の動物体内での代謝・排泄・蓄積など(飼育室・ケージ内での有害物質の蓄積の有無等)	
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	

